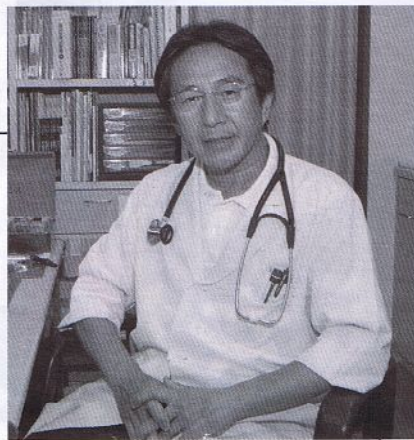


安心

夜間・休日の
急な発熱や腹痛
体調不良——
そんなときは

ぜひ、ご利用ください
夜間休日一次救急診療所

休日の診療に加え、昨年6月から、夜間の診療も始まった「夜間休日一次救急診療所」。突然の発熱や腹痛などに対応する一次（初期医療）診療所として、市民の安全・安心に貢献しています。平成19年度は2848人が診療を受けました。
今月号では、夜間休日一次救急診療所の運営状況についてお知らせします。



真壁医師会筑西支部長
おちあいせいじ
落合 聖二 医師

当診療所は、内科と小児科をメインとして、市民のみなさんの一次（初期）救急医療という役割を担っています。
最近では、比較的軽症な病気の患者さんが、二次救急医療機関を直接受診するケースが増えています。このため、二次救急が本来対象としている重症の患者さんへの迅速な対応ができなかったり、医師不足のなか、過酷な勤務で救急医療を支えている

適時・的確な医療の提供をめざして

る医師の負担もさらに大きくなったりしています。
発熱や腹痛などの場合には、まず、当診療所にお越しく下さい。担当の医師が処置し、さらに高度な診断や治療を要する場合には、自治医大や筑波メディカルセンターなど、適切な医療機関へ紹介します。当診療所との提携により、優先的に見てもらえる体制を整えています。
また、来所の際には事前に電話連絡を入れてください。緊急を要する患者さんを優先的に診察することが出来ます。
当診療所は、地域の医師団が当番制で診察にあたっています。市民のみなさんの安心に配慮するために努力していますので、どうぞ私たちを信頼して診療所にお越しく下さい。

安心の365日診療体制

夜間休日一次救急診療所（以下、診療所）は、筑西市が開設し、真壁医師会筑西支部（落合聖二支部長）と県薬剤師会筑西支部（桜井崇明支部長）の協力で運営しています。

診療は38人の医師による当番制で行われています。年間365日の診療体制をとっていますので、年末年始などでも安心して受診することができます。

なお、県内に10か所ある、いわゆる「休日急患センター」のうち、「年間365日診療体制」としているのは、筑西市と水戸市など4市のみとなっています。

休日診療で1日最大83人

平成19年度は、夜間診療に922人、休日診療に1926人、合計2848人の患者が診療を受けました。1日あたりの最大患者数では、夜間診療で、昨年12月19日に15人、休日診療では、同12月24日に83人を記録しました。

診療科目別の患者数では、小児科が1923人、内科が833人となっています。また、年齢層で見ると、夜間診療では、0歳から15歳までの受診者が全体の75%近くを占めており、初期の小児救急医療に十分貢献していると考えられます。



平成19年度患者数

夜間診療	922人
▶ 1日平均4人（最大15人）	
▶ 0歳～15歳	690人(74.8%)
休日診療	1,926人
▶ 1日平均27人（最大83人）	
▶ 0歳～15歳	1,260人(65.4%)
総患者数	2,848人

平成19年度決算額

▶ 歳入	21,634,000円
▶ 歳出	19,701,000円
▶ 差引	1,933,000円
平成18年度決算額	
▶ 歳入	9,257,000円
▶ 歳出	14,579,000円
▶ 差引	▲5,322,000円

期待が高まる救急診療所

夜間休日診療を受けた患者や家族からは、「子どもの突然の発熱に不安でしたが、夜間に看てもらえて本当に助かりました」、「やさしい先生が親切に診察してくれました」などの感謝の声が届いています。また、最近では近隣の結城市や桜川市の市民の利用も増加しています。

平成19年度の診療所の運営は、医師会や薬剤師会の協力によって、市の財政補てんを受けることなく健全な経営が行われています。今後ますます市民のみなさんの「安心」に貢献できることが期待されます。

茨城

子ども救急
電話相談も
ご利用ください

お子さんが
急な病気で
心配なときは…

毎日午後6時30分～10時30分

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは

短縮ダイヤル【#8000】

すべての電話から

【029-254-9900】

相談は無料です。ただし通話料は利用者負担となります。

*診療科目 内科・小児科

*診療日・診療時間 ※受付は診療終了時間の30分前まで

①休日（日曜日、祝日、年末年始12月31日～1月1日）
午前9時～午後2時（11:30～12:30を除く）

②夜間（平日、土曜日）午後7時～午後9時

*持ちもの 健康保険証 また、母子健康手帳、お薬手帳など

*問い合わせ 救急診療所 ☎ 24-2266